

令和6年10月15日  
原子力安全対策課  
(06-35)  
<10時資料配布>

美浜発電所3号機の原子炉手動停止について  
(1次系冷却水クーラ海水系統戻り母管の減肉)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

美浜発電所3号機（加圧水型軽水炉：定格電気出力82.6万kW）は、定格熱出力一定運転中の令和6年10月5日19時頃、巡視点検中の運転員が、1次冷却水クーラ<sup>※1</sup>の海水系戻り母管<sup>※2</sup>3系統（A、B、C）のうち、C系統母管の2箇所に塩の析出があることを確認した。

当該箇所の肉厚を測定した結果、微小な穴が確認された。また、周辺が減肉していることを確認した。

これを受けて、原因調査を実施するために、原子炉を停止することとした。

なお、本件による環境への放射能の影響はない。

※1：1次系のポンプやモーター等で発生した熱を除去するための冷却水を海水により冷却する機器

※2：1次系冷却水クーラ出口から海水を海へ放出する配管

[令和6年10月10日 記者発表済]

美浜発電所3号機は、10月15日10時00分から出力降下を開始した。18時頃に発電を停止し、20時頃に原子炉を停止する予定である。

問い合わせ先（担当：齋藤）  
内線 2354・直通 0776(20)0314